

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人 ゆとりある

1 事業の成果

令和5年度は、子どもたちの居場所作り事業および普及・啓発事業を重点的に行った。

子どもたちの居場所作り事業では定期的な活動が定着し、不登校状態にある学齢期の子どもたちも安定して通うようになった。居場所では子どもたちが主体的に活動することが多く、ありのままの姿を見ることが出来ていた。

普及・啓発事業においては、主催イベント運営のほか、地域の夏祭りへの参加や不登校に関する講演のご依頼も増え、少しずつ地域に根付いた活動を広められるようになった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 780 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
パーソナルサポート事業	国立市、立川市付近の不登校児童、生徒またその親を対象として対象者の自宅などに出向き、自立支援、面談などを行う。	通年	立川市 国立市近郊	1名	立川市・国立市付近の不登校児童、生徒またその保護者	1名	20
各種相談事業	国内の不登校児童、生徒、またその親を対象として、「ピアカウンセリング」と称して様々な相談を行う。	実施しなかった					0
子どもたちの居場所作り事業	法人事務所スペースを活用し、不登校の子どもたちへ向けた居場所「いまごこち」を開設し運営する。	毎週月曜日・水曜日	法人事務所	5名	立川市・国立市付近の不登校児童	10名	680
普及・啓発活動事業	不登校児童、生徒の親やなどを対象とした情報交換、コミュニティの形成を目的としたイベントを開催するほか、講演の依頼や他団体等の開催するイベントに参加することにより、不登校についての課題の普及・啓発を行う。	月3日程度	法人事務所 または 都内近郊	5名	不登校への課題に関心のある市民および当事者	30名	80